

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	全体	
Q 建築物の環境品質									3.6	
Q1 室内環境						0.36		-	3.4	
1 音環境					3.0	0.15	-	-	3.0	
1.1 室内騒音レベル					3.0	0.40	-	-		
1.2 遮音					3.0	0.40	-	-		
1		開口部遮音性能			3.0	0.60	-	-		
2		界壁遮音性能			3.0	0.40	-	-		
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	-	-		
4		界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	-	-		
1.3 吸音					3.0	0.20	-	-		
2 温熱環境					3.1	0.35	-	-	3.1	
2.1 室温制御					3.2	0.50	-	-		
1		室温	外壁その他U値:1.0以下、窓システムSC:0.5程度、窓ガラスU値:3.0程度		3.0	0.38	-	-		
2		外皮性能			4.0	0.25	-	-		
3		ゾーン別制御性			3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御					3.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式					3.0	0.30	-	-		
3 光・視環境					3.2	0.25	-	-		3.2
3.1 昼光利用					1.8	0.30	-	-		
1		昼光率			1.0	0.60	-	-		
2		方位別開口			-	-	-	-		
3		昼光利用設備			3.0	0.40	-	-		
3.2 グレア対策					3.0	0.30	-	-		
1		昼光制御			3.0	1.00	-	-		
3.3 照度			500lx以上1000lx未満		4.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御			1作業単位で照明制御でき、かつ、端末・リモコン等で調整できる		5.0	0.25	-	-		
4 空気質環境					4.2	0.25	-	-	4.2	
4.1 発生源対策					4.0	0.50	-	-		
1		化学汚染物質	ほぼ全面的にF☆☆☆☆を採用		4.0	1.00	-	-		
4.2 換気					4.0	0.30	-	-		
1		換気量	建築基準法を満たす換気量の1.4倍		5.0	0.33	-	-		
2		自然換気性能			3.0	0.33	-	-		
3		取り入れ外気への配慮	各種排気口と6m以上離れて設置		4.0	0.33	-	-		
4.3 運用管理					5.0	0.20	-	-		
1		CO ₂ の監視			-	-	-	-		
2		喫煙の制御	全館禁煙としている		5.0	1.00	-	-		
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	4.1	
1 機能性					4.3	0.40	-	-	4.3	
1.1 機能性・使いやすさ					3.6	0.40	-	-		
1		広さ・収納性	1人当たりの執務スペースが12㎡以上		5.0	0.33	-	-		
2		高度情報通信設備対応			3.0	0.33	-	-		
3		バリアフリー計画			3.0	0.33	-	-		
1.2 心理性・快適性					5.0	0.30	-	-		
1		広さ感・景観	事務室の天井高2.9m以上、かつ、窓が設置されている		5.0	0.33	-	-		
2		リフレッシュスペース	執務スペースの1%以上のリフレッシュスペース＋自動販売機等の設置		5.0	0.33	-	-		
3		内装計画	インテリアパースによる内装計画の事前検証を実施している		5.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理					4.5	0.30	-	-		
1		維持管理に配慮した設計	内壁・床面は防汚性の高い建材、塗装、コーティングを採用している		4.0	0.50	-	-		
2		維持管理用機能の確保	廃棄物のスペースを確保している		5.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性					3.5	0.30	-	-	3.5	
2.1 耐震・免震・制震・制振					3.2	0.50	-	-		
1		耐震性(建物のこわれにくさ)	免震装置を導入している		3.0	0.80	-	-		
2		免震・制震・制振性能			4.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数					3.8	0.30	-	-		
1		躯体材料の耐用年数			3.0	0.20	-	-		
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔			3.0	0.20	-	-		
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔	20年以上		5.0	0.10	-	-		
4		空調換気ダクトの更新必要間隔	90%以上の範囲にステンレスダクトやガルバリウムダクトを採用		5.0	0.10	-	-		
5		空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用		5.0	0.20	-	-		
6		主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性					4.2	0.20	-	-		
1		空調・換気設備	空調・換気設備の重要度に応じて系統を区分している		5.0	0.20	-	-		
2		給排水・衛生設備	節水型器具を採用している		5.0	0.20	-	-		
3		電気設備	非常用発電設備を備えている		4.0	0.20	-	-		
4		機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-		
5		通信・情報設備	浸水の危険性がない		4.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性					4.4	0.30	-	-	4.4
3.1 空間のゆとり					4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	3.9m以上	5.0	0.60	-	-			
2	空間の形状・自由さ	0.1≦〔壁長さ比率〕<0.3	4.0	0.40	-	-			
3.2 荷重のゆとり				3500N/㎡以上～4500N/㎡未満	4.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性					4.6	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性	天井スペースを確保	4.0	0.20	-	-	-	-	
2	給排水管の更新性	ユニット配管	5.0	0.20	-	-	-	-	
3	電気配線の更新性	ケーブルラック	5.0	0.10	-	-	-	-	
4	通信配線の更新性	ケーブルラック	5.0	0.10	-	-	-	-	
5	設備機器の更新性	マシンハッチ	5.0	0.20	-	-	-	-	
6	バックアップスペースの確保	バックアップ設備のためのスペースあり	4.0	0.20	-	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					—	0.34	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出					3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮				建物の配置・形態等を周辺のまちなみや風景に調和させている	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上					3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上					3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-		-	4.1
LR1 エネルギー					—	0.40	-	-	4.6
1 建物外皮の熱負荷抑制				BPI=0.7	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用				通風利用	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化				[BEI][BEIm]： 0.50	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用					3.5	0.20	-	-	3.5
集合住宅以外の評価					3.5	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	建物全体のエネルギー消費量の目標値が計画されている	3.0	0.50	-	-			
4.2	運用管理体制		4.0	0.50	-	-			
集合住宅の評価			-	-	-	-			
4.1	モニタリング		-	-	-	-			
4.2	運用管理体制		-	-	-	-			
LR2 資源・マテリアル					—	0.30	-	-	4.0
1 水資源保護					3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水				節水コマ、省水型機器	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-				
2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-				
2 非再生性資源の使用量削減					4.3	0.60	-	-	4.3
2.1 材料使用量の削減				マットスラブ「高炉セメント」 ビニル床シート「タジマ タフゾーン」天井吸音板「ソーラトン」断熱材「ネオマフォーム」	3.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用					5.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用					5.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材					-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				躯体と仕上げ材が容易に分別可能、再利用できるユニット部材	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.9	0.20	-	-	3.9
3.1 有害物質を含まない材料の使用				化学物質排出把握管理促進法の対象物質を含有しない建材種別4つ以上	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避					3.5	0.70	-	-	
1	消火剤	ネオマフォーム	-	-	-	-			
2	発泡剤(断熱材等)		4.0	0.50	-	-			
3	冷媒		3.0	0.50	-	-			
LR3 敷地外環境					—	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮				LCCO2排出率64%	4.4	0.33	-	-	4.4
2 地域環境への配慮					3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止				適切な量の自転車置場、駐車スペースの確保	3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善					3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25		-	-			
2	污水处理負荷抑制	3.0	0.25		-	-			
3	交通負荷抑制	5.0	0.25		-	-			
4	廃棄物処理負荷抑制	2.0	0.25		-	-			
3 周辺環境への配慮						3.2	0.33	-	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				チェックリストの項目の過半を満たしている	3.0	0.40	-	-	
1	騒音	3.0	1.00		-	-			
2	振動	-	-		-	-			
3	悪臭	-	-		-	-			
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制	3.0	0.70		-	-			
2	砂塵の抑制	-	-		-	-			
3	日照障害の抑制	3.0	0.30		-	-			
3.3 光害の抑制					4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	5.0	0.70		-	-			
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30		-	-			